

施策番号 2-2-1	施策名 地域内循環の推進と商工業の振興	基本目標	豊かな自然を生かした活力ある農業のまちづくり			
		政策名	農業と連携した活力ある商工観光の振興			
	主管課	商工観光課	課長名	佐藤三舟	内線	411
	施策関係課	建設都市整備課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果	
企業誘致や中心市街地の活性化による商工業の売上げ確保と地域内での経済循環をすすめます。		事業者 工業系企業	<ul style="list-style-type: none"> ・景気低迷の中、庁内消費の維持・拡大を図る ・1次産業から2次・3次産業への経済波及・循環を図る ・企業誘致等による町内企業数の維持・拡大を図る 					<ul style="list-style-type: none"> ・税収の確保 ・雇用の確保 	
成果指標	説明	単位	年度(策定時)	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)		
① 製造品出荷額等	工業統計調査	億円	754.0	701.0	12月判明	750.0	750.0		
② 商品販売額	商業統計調査	億円	655.0	629.0	12月判明	695.0	695.0		
③ 町内企業数	事業所・企業統計調査	社	760.0	753.0	741 (暫定値)	760.0	760.0		
成果指標設定の考え方	①食品関連企業の企業誘致を振興するための成果指標に設定。 ②商業を振興するための施策を講じる必要があることから成果指標に設定。 ③企業数が企業誘致の成果及び事業所の経営状況につながることから成果指標に設定。								

2. 施策の事業費

	27年度決算	28年度決算
施策事業費(千円)	815,156	591,296
人工数(業務量)	1.6055	2.3003

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①平成28年度の成果評価(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	<ul style="list-style-type: none"> ・めむろ一ど修繕計画策定・ステーションギャラリーの有効活用 ・まちなかマルシェの目的を再整理し農工商連携の実施体制の強化 ・企業支援としての障がい者雇用の推進し4名の一般就労へつなげた。
②平成30年度の目標値達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・官民協働による「まちなか再生会議」を推進し、空き店舗対策、施設の機能整理等を検討し、賑わいへつなげていく。 ・買い物スタンプカード事業・リフォーム推進事業により、消費喚起につなげていく。 ・企業支援としての障がい者雇用の推進を継続していく。
(2) 施策の成果評価に対する平成28年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	まちなか賑わい創出事業 芽室駅前プラザ維持管理事業 芽室町東工業団地造成事業 起業セミナー開催事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化の核施設である「めむろ一ど」の長寿命化対策として修繕計画を策定した。 ・買い物スタンプカード・まちなかマルシェを開催し、町外への消費流出抑制と地域内経済循環の推進を図った。 ・立地企業に対する支援として、発達支援システムと連携した障がい者雇用の推進し、4名の一般就労へつなげた。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	工業団地分譲地の減 中心市街地の空き店舗の増 隣接市大型店への消費流出
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	新工業団地の造成 中心市街地の賑わいづくり 空き店舗対策 リフォーム助成事業の継続 買い物スタンプカードの継続

5. 施策の課題認識(現状の課題、新たに取り組むべき課題)

課題①中心市街地の賑わいづくり 官民協働による「まちなか再生会議」を立ち上げ、空き店舗対策・施設の機能整理等の議論を進める。
課題②町外への消費流出 地域内循環を推進するため、買い物スタンプ事業・リフォーム助成事業を継続推進していく。
課題③立地企業への支援 障がい者雇用を進め、法定雇用率未達成企業や雇用確保の取組みに対する支援を継続していく。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	法定雇用率支援のための障がい者雇用を進めており前進していると評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	中心市街地の賑わいづくりでは、「まちなか再生会議」と既存の商工業振興戦略会議との役割分担を明確にしていきたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	起業セミナーの継続や障がい者就労が進んでいるため、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 買い物スタンプカードをさらに利用しやすく、店舗数の増加やポイント単位(500円単位)の見直しなどを検討してほしい。 ● 東工業団地の分譲について、民間同士の売買についても町の支援を受けられるよう検討してほしい。 	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した					